

## 目次

はじめに	高際 澄雄	1	
巻頭エッセー 古典を読み、ここにいない人とともに考える	—鴨長明『方丈記』について	田口 卓臣	5
<b>I 特集：グローバル化と公共圏</b>		11	
「2020年東京五輪がもたらす『スポーツグローバル公共圏』の課題」	中村 祐司	13	
「グローバル時代における国家と市民社会間の公共圏を考える—カンボジアの政府とNGOを事例に—」	重田 康博	22	
「日本における多文化公共圏の確立をめざして—国際学部の果たすべき役割に関する一提案」	高際 澄雄	41	
<b>II 福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト</b>		57	
1 福島乳幼児妊産婦支援プロジェクト (FSP) 2013年度活動報告		59	
2 2013年度 栃木県へ避難している方へのアンケート集計結果 (2013年12月20日)		61	
3 2013年度 震災後の栃木県北地域における 乳幼児保護者アンケート集計結果報告		80	
4 原発震災後の被災家族の現状と課題 —福島・北関東・新潟の乳幼児・妊産婦世帯へのアンケートに基づいて—		91	
5 「原発震災から再考する開発・発展のあり方」研究部会 2013年度活動報告・2014年度活動計画		97	
6 「原子力災害による被災者支援施策パッケージ」に関する再要望事項		98	
<b>III 活動報告</b>		105	
1 国際開発学会第14回春季大会 (宇都宮大学)		107	
2 水俣から栃木にて学ぶ —水俣病受難者の方々の体験と足尾鉍毒事件・原発震災—		111	
3 連続市民講座「多文化共生について考える」VOL.8		119	
4 第5回グローバル教育セミナー「子どもの貧困とグローバル教育」		127	
5 宇都宮大学生国際連携シンポジウム2013 「ASEANから相互理解・相互協力を学ぶ～日本の進むべき道を考える～」		133	
6 平成25年度宇都宮大学地域連携活動支援事業 田中正造没後100年記念シンポジウム 「田中正造とアジア」		139	
7 中東理解セミナー 中東における人口移動の政治・経済・地理 —シリア、パレスチナ、レバノン、湾岸諸国の比較研究—		145	
<b>IV 論文・報告等</b>		149	
投稿論文 「栃木県の小中学校現場における国際理解教育の現状と課題 ～アンケート調査から見てきたもの～」	若林 秀樹	151	
「孤族社会における韓流ドラマ」	崔 寶允	162	
「国際理解教育の概念再構築における課題 —英国の市民教育推進との比較をもとに—」	根本久美子	175	
「ルックイースト政策30年の功罪と今後の課題 —何故、ルックイーストは在馬日系R&Dで役に立たないのか?—」	岡本 義輝	183	
視察報告 「宇都宮大学グローバル人材育成のための事前調査 —スリランカを訪問して—」	重田 康博 福村 一成	196	
<b>V 関連資料</b>		201	
1 センター組織と活動記録		203	
2 センター年報発行要綱		204	
3 新聞記事		205	
・ 「遊水地端緒に教訓探る」			
・ 「水俣病患者 魂の訴え」			
・ 「子どもの貧困に目を」			
・ 「朝鮮人への偏見 正造は別」			
・ 「「言葉の壁」サポート」			
・ 「外国人生徒の進学 高校入学後のケア必要」			
・ 「夢目指し、高校進学を」			
・ 「外国人の子ども 教育の連携必要」			
・ 「支援法、早期実行願う」			
・ 「子ども・被災者支援法 基本方針に当事者の声を」			
・ 「園児被ばく不安8割超」			
・ 「国の対応「差別と分断」」			